

八雲地域まちづくり総合戦略

目指す姿

- ①地域資源を活用して活力のある地域づくりを目指します。
- ②地域コミュニティを強化し、安全・安心で住みやすい地域づくりを目指します。
- ③八雲の歴史・文化・伝統・自然を守り、次の世代に繋げる地域づくりを目指します。

八雲地域の特徴

- ①豊かな自然に溢れ、美しい農村景観が広がるなど、地域資源が豊富にあります。
- ②古代出雲文化発祥の地として熊野大社にまつわる祭事、また、出雲民藝紙などの伝統文化が引き継がれています。
- ③北部の近郊都市地域と南部の農村的地域の二面性があり、特に山間部の集落では高齢化率が高くなっています。
- ④コミュニティバスは熊野線・秋吉線・平原線の3路線あり地域全体を運航しています。
- ⑤保育園が3園、幼稚園、子育て支援センター、児童センターがあること、また、公民館での小中学生を対象とした社会教育活動が充実しているなど、子育て環境に恵まれています。

八雲地域の課題

- ①自然・農村・農産物・歴史・文化・温泉などの、八雲町の地域資源を活かした地域づくりが必要です。
- ②将来的には、人口の減少や高齢化に伴い、地域伝統行事を行うことが困難な状況になっていきます。
- ③新興住宅地では自治会や自主防災組織が未結成でコミュニティの強化が課題です。また、山間部では積雪も多く孤立する集落もあること、また、高齢化率も高くなっており地域の力で見守りや除雪の体制づくりが必要です。
- ④コミュニティバスは一部路線を除きフリー乗車区間となっているものの、特に山間部に住む高齢者宅からバス運行路線まで遠いとの声もあります。
- ⑤若者を八雲にとどめ、また、八雲から出た若者が戻ってきたいと思うような地域づくりを行う必要があります。また、子供たちに八雲の魅力を知ってもらう機会をつくることも必要です。

将来に向けた取り組み

八雲の地域資源を活用したグリーンツーリズム事業

八雲町の地域資源を活用して、特産品の販売や体験・交流事業等を実施し、交流人口の拡大を図ることによって、農家等の所得向上や就業機会の創出など、地域の活性化を図る。

- ①地域資源の販売促進事業
- ②体験交流事業
- ③八雲の魅力発信事業

八雲町の地域力向上による安全・安心事業

- ①自治会の結成・加入促進
- ②自主防災組織の結成促進
- ③消防団への加入促進
- ④地域力による安全・安心ネットワーク事業(高齢者の見守り、除雪支援など)
- ⑤八雲町の高齢者等に配慮した輸送体制の検討事業

八雲町に住みたい、戻ってきたい地域づくり事業

- ①親子を対象とした八雲町の魅力(いいとこ)、探索・発見事業
- ②子どもが生き生き育つ環境づくり事業